

平成30年度

# 全国体力・運動能力，運動習慣等調査

石狩市集計結果



平成31年3月

石狩市教育委員会 生涯学習部

## はじめに

本調査は、全国的な子どもの体力の状況を把握し分析することにより、子どもの体力向上に係る方策の改善を図るために毎年実施されています。市内全小中学校で実技・質問紙等による調査を実施し、スポーツ庁が結果を集計、石狩市教育委員会が分析を行いました。

平成30年度の本市の児童生徒の体格は、小学校女子・中学校男子が身長・体重で全国平均を上回り、小学校男子が体重で、中学校女子が身長で全国平均を上回りました。また、肥満傾向児・痩身傾向児の出現率については、小学校男子が軽度肥満の割合が全国平均よりやや高く、女子は全国とほぼ同様でした。中学校では男子の中度及び軽度肥満傾向児の割合が全国を上回り、女子は痩身傾向児の割合が全国を上回りました。また、本市の児童生徒の体力合計点は、小学校男子・女子、中学校女子が昨年度を上回りました。種目別では、小学校男子が8種目のうち6種目（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・立ち幅とび・ソフトボール投げ）で全国平均を上回り、女子は2種目（長座体前屈・反復横とび）で全国平均を上回りました。中学校では男子が5種目（握力・長座体前屈・反復横とび・持久走・ハンドボール投げ）で、女子は握力で全国平均を上回りました。

ここ3年間の体力合計点の結果を経年比で見ると、今年度は小学校男女と中学校女子が最もよい結果となりました。

本調査では、実技種目だけではなく、「運動やスポーツに対する意識」「運動習慣の状況」「運動やスポーツへの関心」「体育・保健体育の授業に関する意識」等の項目を調査分析の対象とした児童生徒質問紙調査も実施されました。その結果、体力合計点が高い児童生徒ほど生活習慣が規則正しく身に付いていること、児童生徒の運動やスポーツに対する意識が高いほど体力合計点が高い結果となり、その関連が明らかとなりました。

学校質問紙では、「体力・運動能力向上に向けた取組」「体育・保健体育の授業の工夫改善」「努力を要する児童生徒に対する取組」「学校における体育・保健体育授業以外の取組」「授業における外部人材の活用」「地域や関係機関との連携に関する取組」等が調査されました。本市の結果は多くの質問項目で全道・全国の平均を上回りました。

石狩市教育委員会は、これまでの取組の成果を確認するとともに、本調査で明らかになった実技種目や運動習慣等の課題解決のため、今後も各学校独自の「1校1プラン」の積極的な推進や総合型地域スポーツクラブと連携した取組、地域の教育力を活用した部活動指導等を支援し、学校と連携して児童生徒の体力向上のための施策を進めてまいります。

子ども達の体力向上のためには、市民の皆様と成果と課題等を共有し、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが大切であると考えます。今後とも、市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。